

ひかり電話とワイヤレス対応で ビジネスホン拡販

ブラウザを搭載した電話機からPCを使わず直接Webにアクセスができるなど、従来のビジネスホンという枠を超え斬新な機能を備えた岩崎通信機の「PRECOT」が、「ひかり電話」との接続検証を終了し正式に製品仕様に加えた。通信コスト削減や電話番号の変更の必要がないといった「ひかり電話」の利便性を活かすことで、同製品の販売に新たに大きな優位点加わったことは確かなようだ。

岩崎通信機でビジネスホン販売を統括している通信事業本部エリア統括営業部販売促進部の小野口匡史部長は、現在の同社の販売実績や販売パートナーとユーザーの声から、「ひかり電話」とビジネスホンの市場動向について次のように話す。「『ひかり電話』をビジネスホンの新しい有効な通信サービスとして、積極的にユーザーに提案するという営業活動はここ半年の間で活発化しています。当社も含め販売パートナーの動きを見てみると、『050サービス』の対応を図っていた2003年の状況を彷彿させます。特に『ひかり電話オフィスタイプ』が登場してからは中小規模の企業に提案がしやすくなり、勢いと営業のスピードが一段と増したと思っています。今売上に貢献できる通信サービスの一番手は『ひかり電話』とみています。期待感はとても高いです」

そのような状況から、岩崎通信機の「ひかり電話」に対応する動きも積極的だ。同社の最新のビジネスホンシリーズ

である「PRECOT」と「ひかり電話」の接続検証を行い本年6月に完了、正式に製品仕様に加えた。以前は個別対応や試験的に導入をしたケースもあったが、総合的な接続試験を行ったことで全体の品質が高まり、信頼感が増し、誰でも安心して販売できるようになった。

「PRECOT」は5つのソリューションを基本提案のテンプレートとしているが、その中で通信サービスとの接続については「IP Solution」に集約している。従来は「OCNドットフォン オフィス」「アイエフネットIP-Phone」「FUSION IP-Phone」という3つの050サービスに対応していたが、その「IP Solution」に「ひかり電話」が加わったことで「電話番号を変えたくない」というユーザーの要望にも応えられる提案ができるようになり、選択肢を増やしている。

「PRECOT」の大きな特長であるビジュアルホンという点でも「ひかり電話」は提案しやすい。「ひかり電話」の通信基盤はNTTのブロードバンド網である「Bフレッツ」であるため、通信回線の容量を気にすることなく、「PRECOT」の電話機に搭載されたブラウザを使い大容量のコンテンツを使ったアプリケーションが積極的に活用できるからだ。ネットワークカメラを使った監視やセキュリティ等は典型的



岩崎通信機
通信事業本部エリア
統括営業部
販売促進部
小野口匡史部長

な例といえるだろう。

ワイヤレス活用も積極提案

ビジネスホン販売の現場で「ひかり電話」の提案が盛んに行われていることは判ったが、他にはどのようなビジネスシーンで活用できるだろうか、また、ユーザーのニーズはどこにあるのだろうか、小野口部長はその点について次のように話す。「業種や業態にもよりますが仕事のスタイルに機動性を求めた、ワイヤレス環境によるビジネスホンの活用が目立ちます。コードレス電話なども使われています」実際に製造業や大規模な小売店舗でワイヤレスのコミュニケーションのツールとして「PRECOT」は導入されている。また、ウィルコム の定額プランやKDDIの「OFFIMO」にも「PRECOT」は対応しており、社内だけでなく社外での活用場面も想定した仕様になっている。

岩崎通信機では今後も「ひかり電話」やワイヤレス活用によるビジネスホンの販売を積極的に進めることのできる体制を築いており、それをさらに強化していく方針だ。

お問い合わせ先

岩崎通信機株式会社

TEL : 03-5370-5470

URL : <http://www.iwatsu.co.jp>



PRECOTシリーズ主装置・ビジュアルIP電話機・多機能電話